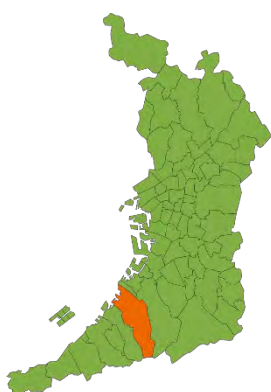


## 大阪府岸和田市

### 景観資源活用による景観意識の向上と 地域の賑わい・活性化への貢献



#### 【活動の基本情報】

参加学生数：10名

(1年生：2名、2年生：5名、3年生：3名)

活動期間：2021年5月～2024年1月

担当教員：堀田祐三子

#### 1. 活動実施の経緯

2021年度、2022年度に引き続き、市民の景観意識の向上と地域への主体的な関与を目的とする「岸和田市こころに残る景観資源発掘プロジェクト」によって選定された景観資源の利活用として、ウォーキングイベントの企画・運営を行う。それに伴う景観資源の調査を通じて、景観資源の観光資源化を目指す。

#### 2. 活動の内容

定期的集まり、岸和田市役所都市計画課の方に助言をいただきながら、ウォーキングイベントの内容、ターゲット、広報方法についてミーティングを行った。イベントに向けての準備は広報班、デザイン班、コンテンツ班に分かれて行った。広報班は広報先の策定と広報文章の作成、デザイン班はチラシ・配布冊子・マップの作成、コンテンツ班は謎解き・クイズ・デジタルスタンプラリーの作成を担当した。11月12日に景観資源を謎解きとともに巡る「ぶらり岸和田景観なぞときラリー」を開催した。去年の反省を活かし、スタートを南海岸和田駅前・南海波切ホール1階、ゴールを南海岸和田駅前と、わかりやすい場所に設定した。当日はそれぞれの中継地点に分かれ、謎解きと景観資源にちなんだクイズを出題した。運営資料を作成し、各中継地点での作業の流れを事前に把握していたため、混乱せずに運営を行うことができた。どんチャカフェスタと同時開催ということもあり、南海岸和田駅前から66人、南海浪切ホール前から109人の、計175人の参加があった。

#### 3. 活動を通じて

配布物の作成、クイズや謎解きの作成を通して景観資源や岸和田市についての理解が深まった。イベントでは多くの地域の方とコミュニケーションを取ることができ、開催側としても楽しい時間になった。イベントの企画・運営全体では去年の反省点を多々活かすことができ、満足度の高いものになった。

#### 4. 成果ポスター






## 岸和田市景観LPP

野田和貴・青木真緒・浅田歩実・古賀彩・廣川剛彦  
石田彪我・城七海・若野有紗・増井隆乃輔

### 岸和田景観LPPとは？

私たちは、大阪府岸和田市に多く存在する景観資源を広く市内外へPRすることを目的に、岸和田市都市計画課の方々と連携して活動しています。昨年度に引き続き「ここに残る景観資源発掘プロジェクト」として、毎年市民から募集した景観資源を有効活用するためのウォーキングイベントを企画・実施しました。

### イベント概要と成果

11月12日に「ぶらり岸和田景観謎解きラリー」を開催しました。景観資源をより多くの方に知っていただくため、謎解き・クイズ・デジタルスタンプラリーを楽しみながら景観資源を巡る、ウォークラリー形式のイベントを企画しました。どんチャカフェスタと同時開催ということもあり、当日は175名の方に参加していただくことができました。

広報班の活動内容	コンテンツ班の活動内容	デザイン班の活動内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学内各所でチラシの設置</li> <li>・岸和田市内でチラシの設置</li> <li>・観光学部HPでイベントの紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・謎解きの作成</li> <li>・クイズ、ルートの作成</li> <li>・デジタルスタンプラリーの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシの作成</li> <li>・配布物の作成</li> </ul>

#### ウォークラリーをどこで知ったか(計30人) ～岸和田市景観LPPアンケート調査～



知った場所	人数
イベントチラシ	8
広報岸和田	8
現地で知った	7
HPやSNS	5
その他	2

景観についての関心が高まった

# 100%

景観についての関心が高まった

イベントの満足度

# 83.3%

イベントの満足度

私たち岸和田景観LPPは3年間にわたり、大阪府岸和田市に多く存在する景観資源を広く市内外へPRすることを目的に、岸和田市都市計画課の方々と連携して活動してきました。活動を通して、イベントを計画し運営することの難しさ、そして、岸和田市の美しさや温かさを知ることが出来ました。

Mumiko Harita

## 2023 年度 LPP 合同活動報告会 実施報告

大阪府岸和田市

テーマ： 景観資源活用による景観意識の向上と地域の賑わい・活性化への貢献

### 合同報告会を終えての感想と 3 年間の総括

10 月に開催した中間報告会の際よりも人数が多く、会場内が活気に溢れていただけでなく受け入れ先自治体の方々もお越しになられていたため、終始活発な意見交換が行われていたように見受けられました。

岸和田景観 LPP は本年度を持って活動を終了するため、合同報告会が全員で活動できる最後の機会であった。発表の構成としては本年度のメインイベントである「ぶらり岸和田景観なぞときラリー」の企画段階からイベント本番の様子、実施後のアンケート分析結果と 3 構成に分けて発表を行いました。

実際に発表後はたくさんの方々から私達のポスターに興味を示して下さり、特に新たな試みであるデジタルスタンプラリーについてのご質問を行政の方々を含め多く頂く等、他の自治体でも新たな可能性がある事を提供できた点については、大変嬉しく思っております。また岸和田市の方々にも大変ご好評なご意見を頂戴する事ができ、LPP としての活動が終了した後もイベント実施に伴い作成したコンテンツを有効活用したいとの有り難いお言葉を頂きました。

岸和田景観 LPP としての 3 年間の活動は合同報告会をもって終了となりましたが、3 年間を通じて地域と継続して関わる難しさに悩んだ事も多くありました。しかしそれ以上に地域の美しさや温かさを身にしみて感じる事が出来たと共に、当初の目標である「岸和田市に多く存在する景観資源を広く PR する」を達成出来た事に喜びを感じています。最後になりましたが、3 年間の岸和田景観 LPP 活動を支えてくださった全ての方々に心より感謝申し上げます。